

ベンガルヤハズカズラ

学名 *Thunbergia grandiflora*

科名 キツネノマゴ

別名

区分 まちかど しょくぶつ
街角の植物

分布 ぶんぶ
インド原産



葉の形 はかたち
ハート形

葉の縁 はふち
鋸歯

葉の先 はさき
鋭尖形

葉の種類 はしゅるい
単葉

葉の付方 はつきかた
対生

葉の基部 はきぶ
ハート形

実の種類 みしゅるい
蒴果

花・萼色 はながくいろ
薄紫色

説 明

うすむらさきいろ はな た さ ふさじょう たすう さ
薄紫色の花を垂れ下がるように房状に多数咲か
せます。周年開花するが夏の終わり頃が盛花期です。
わめい しゅうねんかいか なつ お ごろ せい か き
和名はインドのベンガル地方に自生する矢筈状の葉
をしたつる植物ということに由来しています。インド
げんさん こ じょうりよく せいしょくぶつ
原産で10mを越える常緑のつる性植物です。